



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 5月号

〒624-0955 舞鶴市宇丸田74番地

TEL : 0773-82-0013

令和3年 4月28日発行

心さわやかに、前向きな気持ちで！

桜木丘の桜に代わり、新緑が美しい5月を迎えることとなります。校舎表のつつじの花や校舎裏の藤の花が新緑に生え、目を楽しませてくれる爽やかな季節となりました。



しかし、新型コロナウイルスの影響は大きく25日から3回目の緊急事態宣言が発令さ

れました。若年層も重症になりやすい新種株の感染者数が増えている状況等、今まで以上の危機を感じています。できることをやっていくしかありませんが、逆にこんな時だからこそじっくり考えたり、今までしたことのない家でできる新しい何かにチャレンジするよい機会でもあります。

そんな辛い時に、心を癒してくれる名言をいくつか紹介します。

- 「太陽の光と雲ひとつない空があって、それを眺めていられるかぎり、どうして悲しくなれるというの？」
(アンネ・フランク)
- 「顔をあげて、胸を張って。あなたならできる。暗闇が訪れても、朝はやってくる。希望を捨てないで。」
(ジェシー・ジャクソン・米国の市民権活動家・牧師)
- 「どんな悲しみや苦しきも必ず歳月が癒してくれます。そのことを京都では『日にち薬(ひにちぐすり)』と呼びます。 時間こそが心の傷の妙薬なのです。」
(瀬戸内 寂聴)
- 「人生で最高のもの、最も美しいものは目に見えず、触ることもできません。それは心で感じるものなのです。世の中はつらいことでいっぱいですが、それに打ち勝つことも満ち溢れています。」
(ヘレン・ケラー)
- 「ぐちをこぼしたっていいがな 弱音を吐いたっていいがな 人間だもの たまには涙をみせたっていいがな 生きているんだもの」
(相田みつを)
- 「大きくても30センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか？川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。そのときは負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと心がける。そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグーンと大きくなっているはずですよ。」
(斎藤茂太・精神科医・随筆家)
- 「打てない時期にこそ、勇気を持ってなるべくバットから離れるべきです。勇気を持ってバットから離れないと、もっと怖くなる時があります。そういう時期にどうやって気分転換をするかは、すごく大事なことです。」
(イチロー)

考え方ひとつで気持ちも変わります。閉塞感いっぱいの状況ですが、感染対策をしっかりと行い、学校としてできることをやっていきたいと思えます。

校長 中江 浩二 教職員一同